

みんなで節電アクション！



夏場の電力不足

官民挙げて節電に取り組もう

東京電力管内で予想されるこの夏の電力不足について、政府が新たな需給対策をまとめた。大型工場やデパートなどの大口需要家に加え、中小企業や一般家庭に対しても、一律で前年比15%の節電を求めている。しかし、猛暑によるクーラー需要の急増といった事態も起こり得ることを考えれば、目標の達成はこれでも容易ではない。

政府は、今回の節電目標の見直しと同時に、軽装で暑さをしのぐ「クールビズ」の実施開始日を、今年は例年より1か月早めて5月1日からとし、期間も半年間に拡大することを決めた。一方、企業の中には、始業時間を繰り上げる「サマータイム」を自主的に実施して、電気の使用量を減らそうとする動きもある。こうした官民挙げた省エネ・節電運動で、夏場の電力危機を乗り越えたい……。 (5月1日付 新聞記事より)

家庭で できる節電アクション

1 確認しましょう・・・過去の検針票などで、ご自宅の消費電力を確認してみましょう。また、電力使用のピーク時間を意識して節電に心がけることも有効です。ピーク時間の情報をチェックしましょう。



2 減らしましょう・・・エアコン、冷蔵庫、照明器具やテレビで、家庭の電力消費の約70%を占めるといわれています。電化製品の使用はできる限り控え、電力を消費しないよう機器の調整をするなど、使い方を見直しましょう。温水洗浄便座やポットなどの保温機能で知らず知らずのうちに電力を使用しています。保温機能の使用は控えましょう。さらに、家庭における電力消費のうち、待機時消費電力が約6%を占めると言われています。使用しない電化製品はコンセントを抜くなど、待機電力の消費を徹底的に減らしましょう。

家庭で できる節電アクション

①	エアコン	・できる限り使用は控え、扇風機を利用する。 ・使用する場合は、設定温度は冷房 28℃以上、暖房 20℃以下を目安にする。
②	冷蔵庫	・設定温度は「強」にしないで、「中」（夏）、「弱」（冬）にする。 ・詰め込みすぎず、開け閉めはすばやくする。 壁から適切な間隔をあける。
③	照明	・居室や廊下・玄関等の不要な照明を消す。 ・生活に支障のない範囲で、電球や蛍光灯の一部を照明器具からはずす。
④	テレビ	・家族で一緒に視聴する。 ・画面の明るさや音量を落とす。 ・本当に見たい番組だけにして、つけっぱなしにしない。
⑤	洗濯機・乾燥機	・まとめ洗いで洗濯回数を少なくする。 ・衣類乾燥機は使用せず、晴れた日は天日干しに、雨の日は部屋干しにする。
⑥	パソコン	・使用時は省エネ設定にする。 ・使用しないときは電源をオフにする。
⑦	待機電力	・電化製品を使わないときはコンセントから抜く。 ・給湯機器を利用しないときは、電源をオフにする。

3 工夫しましょう・・・ ライフスタイルを見直し、省電力型の生活になるよう工夫してみましょう。電力需要のピーク時を意識して、需給がひっ迫する時間帯（午前9時から午前11時/午後6時から午後8時）は一層の節電に取り組みましょう。

職場や店舗で できる節電アクション

事業所における電力の使用形態は様々ですが、共通する取組例についてご紹介します。

1 事業所の方へお願い・・・ 過度な屋外広告、電飾看板などは消灯しましょう。また、空調機器や電気給湯器などは、多くの電力を消費します。必要に応じた使用にするなど、こまめな調整をお願いします。



①	産業分野 (製造業他)	・生産プロセスの一層の合理化や設備運用の最適化を進める。 ・省エネ設備を導入する。 ・節水を推進する。 ・操業時間/日の短縮やシフトを実施する。 ・夏期休業の設定。長期化。分散化を実施する。
②	業務分野 (オフィス・店舗・学校 他)	・空調温度を引き上げる。 ・照明を削減する(窓際での消灯、ネオンの消灯など) ・空調時の換気量を調整する(今より少なくする)。 ・建物の遮熱性をあげる(窓に遮熱フィルム、ブラインドなど) ・パソコン、プリンター等のOA機器の使用を削減する。 ・省エネ設備を導入する。 ・節水を推進する。 ・営業時間/日の短縮やシフトを実施する。 ・夏期休業の設定。長期化。分散化を実施する。 ・節電ビズ(クールビズの一層の強化)を実施する。

三芳町役場での取組み・・・省エネ・節電対策に積極的に取り組んでいます。

1 トイレ、廊下等共用部分の電力使用の節減

2 事務スペースでは、照明を部分消灯

3 パソコン、プリンターの省エネ使用の徹底

4 自動販売機照明の消灯

5 職員のエレベーター使用の自粛

お問い合わせ 三芳町役場

環境産業課 環境対策係

電話 049-258-0019 (216)